

平成16年度第1回京都市図書館協議会・摘録

○ 日時 平成16年11月11日(木) 午後3時～4時30分

○ 場所 京都市生涯学習総合センター 5階 第7研修室

○ 出席委員 [10名中9名出席]

太田 亮子 委員

大森 昌之 委員

迫田 照男 委員

島津 吉弘 委員

永井 麻里 委員

畑 正高 委員

松井 真由美 委員

向井 純子 委員

山岡 祐子 委員 (五十音順)

○ 傍聴人数 2名

1 開会

- ・梶村中央図書館長からの挨拶

2 報告事項

- ・事務局から以下の項目について説明した。

(1) 平成15年度図書館利用状況について

平成15年度の利用状況は前年度の伸び率を上回る大幅増となった。

入館者数 372万人(7.3%増) 1日当たり12,917人

貸出冊数 614万冊(12.2%増) 1日当たり21,461冊

(2) 蔵書点検の結果について

蔵書管理の徹底と市民サービスの向上を図るため平成16年2月から3月にかけて順次臨時休館し、全館で蔵書点検を実施。その結果京都市全館で約1万5千冊の図書が行方不明であることが明らかとなった。不明図書対策に努めるとともに、市民への協力を呼びかけてい

る。

(3) 夜間開館の推進について

現在、地域図書館 8 館を含む計 13 館で夜間開館を行い、東山区を除く全行政区で夜間開館を実施している。今後、平成 19 年度までに全市立図書館で夜間開館を拡大実施する予定である。

(4) 「京都国際マンガミュージアム（仮称）構想」について

マンガ・アニメの拠点施設である「京都国際マンガミュージアム（仮称）構想」が京都市と京都精華大学の合同で策定され、元龍池小学校の既存の校舎を改修し、平成 18 年秋に開設する予定である。

3 協議事項

- ・事務局から以下の項目について説明したのち、意見交換。

(1) 子ども読書活動の振興について

京都市図書館では子どもの読書活動を推進するためにさまざまな取組を行っている。今年度も子ども読書の日を中心に、読書えはがき展や読み聞かせ、紙芝居などのおたのしみ会、読み聞かせ講座を実施した。今後も、引き続きその充実を図っていく。

(2) 右京中央図書館（仮称）進捗状況について

地下鉄東西線の二条駅から天神川までの西伸に伴い設置される天神川駅（仮称）周辺地区における再開発施設の中に、新たに図書館を設置し、平成 19 年度に開館を予定している。新中央図書館基本構想の機能のうち、早急な対応が求められる IT 環境の整備と「京都大百科事典的図書館」機能を先行的に実施するとともに、施設の老朽化が進む現右京図書館を拡充・移転し、「右京区基本計画」に沿って整備する。

4 主な意見・質問等

- ・京都市の図書館は京都市民へのサービスだけでなくもっと高いレベルの役割を担うべきだと考えており、他都市と同じサービスを行うのではなく京都市としての独自性が必要だと思ふ。

- ・中学生の生き方探求チャレンジ体験で、カウンターで貸出返却業務を体験させている図書館があったが、プライバシーの点で問題があるから職員以外の者が貸出返却業務をできないことを教えるのも大事なのではないか。

- ・ 「京都国際マンガミュージアム（仮称）」と新中央図書館の併存が可能との説明があったが、それは新中央図書館の規模を再考するということか。

- ・ マンガという言葉に対して私らの世代が抱くイメージと現在のマンガの状況は違うという認識はあるが、なぜマンガミュージアムを元龍池小学校に作るのか。なぜ精華大学の取組を京都市がバックアップするのか。単に時流にのってマンガミュージアムを作るのでは中途半端なものになるのではないかと危惧している。

- ・ マンガミュージアムはコストがかかりすぎるのではないか。コストをかけて新しいものを作るよりも、現在醍醐中央図書館でしか借りることのできない視聴覚資料を全館に広める方が市民のためになると思う。

- ・ 不明図書が多すぎる。図書館の図書は市民の財産であるから、市民にもっとアピールして図書を大切にしよう働きかけるべきである。なくなった本はすぐに補充するのか。

<右京中央図書館（仮称）について>

- ・ 滋賀県のある図書館ではスーパーのチラシなど日々の暮らしの情報を保存していた。郷土資料を積極的に収集するという事なので、蔵書以外にもそういった資料を保存したらどうか。ボランティアの協力を得れば費用をかけずに集めることができると思う。

- ・ 図書館の上に体育館がはいると聞いたが、防音対策はどうなっているのか。

- ・ 視覚障害者に配慮した最新の機器を置いたり、対面朗読室の防音対策をとってほしい。

- ・ 面積が3千㎡とあるが、具体的にはどれくらいの大きさになるのか。

- ・ 東山図書館のように駐車場を無料にしてくれると大変ありがたい。

- ・ 現在子ども放送局が見られる図書館はあるのか。京都は公民館が十分に整備されていないので、ぜひ右京中央図書館でも見られるようにしてほしい。

[事務局]

- ・ 中学生の生き方探求チャレンジ体験における指導については、これまでからも個人情

報に関しての注意は行っていたと思うが、より十分に配慮しなければならないので、各館に注意を促す。

- ・新中央図書館については、図書館をめぐる状況変化を踏まえて改めて慎重に検討する。右京中央図書館（仮称）では新中央図書館基本構想の機能のうち、IT 環境の整備と京都大百科事典的図書館機能を先行的に実施するので、その効果と課題をみてどの程度の大きさが必要なのかも含めて検討する。

- ・不明図書については、なくなってから数ヶ月して書架に戻る場合もあるのですぐには購入しない。京都市に限らず全国の図書館界では数年間調査を行っている。数年経ってもみつからない場合も、他館や京都府下にその本がある場合は相互貸借できるので購入しないことがある。

- ・右京中央図書館（仮称）の防音対策については、体育館の下には事務室及び書庫を配置し、利用者の方には迷惑をかけないように考えている。また、大きさについては、現在の中央図書館が約 2,000 m²弱であり、その 1.5 倍になる予定である。

- ・子ども放送局の放映については、検討している。なお、現在、中央図書館、伏見中央図書館、醍醐中央図書館で視聴が可能であるが、スペースの関係で読書室やロビーに置いている。

5 閉会